

平成23・24年度地域リハビリテーション支援事業実施報告書

I 事業実施体制等					
1	地域リハビリテーション支援センター名（運営医療機関名） / 二次保健医療圏名				
	西多摩地域リハビリテーション支援センター				
2	事業実施地域 ※区市町村名を記入してください				
	二次保健医療圏内	二次保健医療圏外			
	福生市・羽村市・青梅市・あきる野市 瑞穂町・日の出町・奥多摩町・檜原村	八王子市・府中市			
連携施設					
	連携施設の有無	有 ・ 無			
3	有の場合	施設名称/施設種類	医療法人財団利定会 進藤医院 / 医院および訪問リハビリテーション		
		所在地	東京都青梅市千ヶ瀬町6-791-1		
		委託した事業	西多摩訪問リハビリテーション連絡会の企画運営等		
		委託金額			
有の場合	有の場合	施設名称/施設種類	医療法人財団利定会 大久野病院訪問看護ステーション / 医院および訪問リハビリテーション		
		所在地	東京都青梅市千ヶ瀬町6-791-1 (2F)		
		委託した事業	西多摩訪問リハビリテーション連絡会の企画運営等		
		委託金額			
協力施設					
	協力施設の有無	有 ・ 無			
4	有の場合	①	施設名称/施設種類	医療法人社団和風会 多摩リハビリテーション病院 / 病院	
			所在地	東京都青梅市長淵9-1412-4	
			協力の内容	各種連絡会、研修会等への参加協力等	
	有の場合	有の場合	②	施設名称/施設種類	医療法人社団崎陽会 日の出ヶ丘病院 / 病院
				所在地	東京都西多摩郡日の出町大久野310
				協力の内容	各種連絡会、研修会等への参加協力等
	有の場合	有の場合	③	施設名称/施設種類	医療法人社団久遠会 高沢病院 / 病院
				所在地	東京都西多摩郡瑞穂町大字二本木722-1
				協力の内容	各種連絡会、研修会等への参加協力等
	有の場合	有の場合	④	施設名称/施設種類	医療法人社団三秀会 羽村三慶病院 / 病院
				所在地	東京都羽村市羽4207
				協力の内容	研修会の運営、各種連絡会等への参加協力等
	有の場合	有の場合	⑤	施設名称/施設種類	医療法人財団暁 あきる台病院 / 病院
				所在地	東京都あきる野市秋川6-5-1
				協力の内容	各種連絡会、研修会等への参加協力等
	有の場合	有の場合	⑥	施設名称/施設種類	青梅市立総合病院 / 病院
			所在地	東京都青梅市東青梅4-5-1	
			協力の内容	各種連絡会、研修会等への参加協力等	
有の場合	有の場合	⑦	施設名称/施設種類	医療法人社団三秀会 青梅三慶病院 / 病院	
			所在地	東京都青梅市大柳町1412	
			協力の内容	各種連絡会、研修会等への参加協力等	
有の場合	有の場合	⑧	施設名称/施設種類	公立福生病院 / 病院	
			所在地	東京都福生市加美平1-6-1	
			協力の内容	各種連絡会、研修会等への参加協力等	

Ⅱ 事業実施内容等（必須の役割）※全センター共通

1 地域リハビリテーション力の向上

(1) OT・PT・ST等対象の症例発表会（検討会）

	平成23年度	平成24年度
名称	摂食・嚥下リハビリテーション症例検討会	摂食嚥下リハビリテーション症例検討会
回数	1	1
開催年月日及び場所等	平成23年7月15日 大久野病院にて	平成24年6月25日 大久野病院にて
内容	当日研修会で講師をお願いした黒岩恭子先生に、実際の患者さまのベッドサイドに行き口腔ケア方法などについて学ぶ。	その後に行われる研修会の講師である黒岩恭子先生に、実際の患者さまのベッドサイドに行き口腔ケアの方法などについて学ぶ。
参加者数	30	43
名称	呼吸リハビリテーション症例検討会	呼吸リハビリテーション症例検討会
回数	2	2
開催年月日及び場所等	平成23年9月29日・平成24年2月7日 大久野病院にて	平成24年9月13日・平成25年3月14日 大久野病院にて
内容	画像等を見ながらの症例検討会	レントゲンの画像等を見ながら多職種による症例検討会
参加者数	43	35
名称	リハビリスタッフ症例検討会	リハビリスタッフ症例検討会
回数	1	1
開催年月日及び場所等	平成23年11月3日 多摩リハビリテーション学院にて	平成24年11月3日 多摩リハビリテーション学院にて
内容	社団法人東京都理学療法士会 南多摩・西多摩ブロック主催の研修会に後援。理学療法に限らずリハビリテーションに関する症例報告を実施	社団法人東京都理学療法士会 南多摩・西多摩ブロック主催の研修会に後援。理学療法に限らずリハビリテーションに関する症例報告を実施
参加者数	約40人	約35人

(2) かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供

	平成23年度	平成24年度
取組内容	当センターのパンフレットおよび相談支援事業案内等の送付や都度開催している各種研修会の案内、リハビリテーションのパンフレット等を送付して啓蒙を図った。併せて脳卒中地域連携パスの会議等では地域の病院・医院の先生方とも同席する機会が多くなってきており、リハビリテーションの提供や情報提供の仕方などについても言及している。（西多摩医師会が作成したリハビリテーション手帳の活用なども含めて。）また、嚥下障害リハビリテーションについては西多摩医師会、西多摩歯科医師会、西多摩保健所が中心に脅威会や研修会を開催しており、歯科医師とのネットワークの構築も進展している。	23年度、東京都リハビリテーション協議会テキスト検討部会で作成された『典型事例から学ぶ！脳卒中のリハビリテーション』がケアマネジャーだけでなく、かかりつけ医が患者や家族に対して指導する際にも有効の声が聞かれ、開業医の先生方にも配布した。また、地域で従来より行われている脳卒中地域連携パスの会議等にも出席、地域で行われているリハビリテーションの情報や重要さを説明した。また、摂食嚥下リハビリテーションについては、引き続き西多摩医師会、西多摩歯科医師会、西多摩保健所等と協働して協議会や研修会などが開催されており、かかりつけ医と歯科医師、歯科衛生士、言語聴覚士等とのネットワークの構築を行った。

2 介護リハビリテーション分野への支援

(1) リハ施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定

	平成23年度	平成24年度
取組内容	<p>高次脳機能障害の方およびそのご家族への支援として、「高次脳機能障害支援普及事業（専門的リハビリテーション充実モデル事業）」（障害者施策推進部精神保健・医療生活課生活支援係より受託）を中心に研修会の開催や事例検討会を開催し、ケアマネジャーを含めて地域生活を支える生活支援員の養成を行った。</p> <p>22年度も実施した地域の病院に所属しているMSWと地域包括支援センターとで共同し、9月にMSWとケアマネジャーとの情報交換会を実施した。また、ケアマネジャーから、医療機関に対して「敷居が高い」との意見も出されていたため、まずは大久野病院から利用者の外来受診時にケアマネジャーの同行を促し、MSWの仲介のもと医師やリハビリテーションスタッフ等とケアマネジャーが上手くコミュニケーションが図れるような試みもケース的に行った。</p>	<p>3年ほど前から実施している地域の医療機関とケアマネジャーとの情報交換会を10月11日にあきる野市地域包括支援センターと協同開催。今年度は病棟看護師とケアマネジャーとの連携をテーマに開催した。相互の意見の食い違いから生じる問題点などが指摘され、少しでもそれらの問題が緩和されれば良いという感想が聞かれた。</p> <p>また、西多摩訪問リハビリテーション連絡会主催で地域のケアマネジャーとの情報交換会も開催。訪問リハビリテーションの意義や使い方などについて意見交換が行われた。</p>

(2) ケアマネジャーへの研修

	平成23年度	平成24年度
名称	地域リハビリテーション研修会	(ニチイケアセンター) ケアマネジャー研修会
回数	1	1
開催年月日及び場所等	平成24年3月13日 羽村市生涯学習センターゆとろぎ	ニチイケアセンター
内容	要介護、要支援高齢者の在宅生活を支えるケアマネジャーの、知っておいて欲しいリハビリテーションの知識についての講義を行った。	「脳血管疾患後の脳の機能障害」をテーマに策したテキストを紹介、またケアマネジャーがその対応に苦慮している高次脳機能障害についてやその対応方法について講義。
参加者数	18	16
名称	介護支援専門員・訪問リハビリテーションスタッフ交流会	あきる野市介護事業者連絡会研修会
回数	1	1
開催年月日及び場所等	平成23年11月14日 青梅市福祉センターにて	平成25年2月15日 あきる野ふれあいセンター
内容	要介護、要支援高齢者の在宅生活を支えるケアマネジャーの、知っておいて欲しいリハビリテーションの知識についての講義を行った。	「脳血管疾患後の脳の機能障害」をテーマに策したテキストを紹介、またケアマネジャーがその対応に苦慮している高次脳機能障害についてやその対応方法について講義。
参加者数	18	43
名称		介護予防講演会※青梅市地域包括支援センター主催
回数		1
開催年月日及び場所等		平成25年3月15日 青梅市役所

内容		地域包括支援センターの予防事業の一環として当センターのSTを講師として派遣。「中高年のための、ますます元気教室」をテーマに講演した。
参加者数		78
名称		地域リハビリテーション研修会
回数		1
開催年月日及び場所等		平成25年2月19日 羽村市生涯学習センターゆとろぎ
内容		「脳血管疾患後の脳の機能障害」をテーマに策したテキストを紹介、またケアマネジャーがその対応に苦慮している高次脳機能障害についてやその対応方法について講義。
参加者数		12

(3) ケアプラン相談支援

	平成23年度	平成24年度
相談受付方法 受付日・時間	・通常相談 相談方法：電話・FAX・メール等 受付日：毎週月～金（日祭日、年末年始を除く） 受付時間：午前9：00～午後5：00 ※高次脳機能障害に関するものは別事業で対応	・通常相談 相談方法：電話・FAX・メール等 受付日：毎週月～金（日祭日、年末年始を除く） 受付時間：午前9：00～午後5：00 ※高次脳機能障害に関するものは別事業で対応
相談件数 主な相談内容	・通常相談 相談件数：11件 主な相談内容：呼吸リハビリテーションに関するもの、遷延性意識障害者へのケア等について、リハビリテーションサービスの受領についてなどが多く見られた。	・通常相談 相談件数：46件 主な相談内容：摂食嚥下リハビリテーションに関するもの、遷延性意識障害者へのケアについて、呼吸リハビリテーションに関するものなど、また制度の利用方法などについての相談が多く寄せられた。
相談受付方法 受付日・時間	・専門員相談会（あきる野市） 相談方法：予約制 受付日：平成23年7月21日・10月20日・ 平成24年2月16日 開催時間：午後3：00～5：00	・専門員相談会（あきる野市） 相談方法：予約制 受付日：平成24年7月19日・10月18日・ 平成25年2月21日 開催時間：午後3：00～5：00
相談件数 主な相談内容	相談件数：9件 主な相談内容：高次脳機能障害に対するケアプランについて、呼吸リハビリテーションに関するもの、障害者福祉サービスに関するものなど。	相談件数：9件 主な相談内容：医療が必要な方のケアプランの作成について、リハビリテーションを取り入れたケアプランの作成について、高次脳機能障害を有する方のケアプラン作成についてなど

3 地域リハビリテーション関係者との連携強化

(1) 地域協議会（連絡会）の設置

	平成23年度	平成24年度
名称	西多摩訪問リハビリテーション連絡会	西多摩訪問リハビリテーション連絡会
回数	7	6
開催年月日及び場所等	平成23年5・7・8・9・10・11月、24年2月 進藤医院・日の出ヶ丘病院	平成24年5・7・9・11月、25年1・3月 進藤医院・日の出ヶ丘病院等

参加団体	あきる台病院、青梅三慶病院、羽村三慶病院、草花クリニック、熊川病院、日の出ヶ丘病院および訪問看護ステーション、梅の園訪問看護ステーション、訪問看護ステーションさくら、武蔵野台病院、訪問看護ステーション菜の花、進藤医院、大久野訪問看護ステーション	あきる台病院、青梅三慶病院、羽村三慶病院、草花クリニック、熊川病院、日の出ヶ丘病院および訪問看護ステーション、梅の園訪問看護ステーション、訪問看護ステーションさくら、武蔵野台病院、訪問看護ステーション菜の花、進藤医院、大久野訪問看護ステーション
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問リハビリテーション事業所リストの作成 ・ケアマネジャーとの連絡会の開催 ・訪問リハビリテーションの啓蒙など 	訪問リハビリテーション普及のための地域における連絡会。連携にまつわる議論や、ケアマネジャー、ヘルパーなども巻き込んだ研修会などの企画運営も行っている。

Ⅲ 事業実施内容等（選択する役割）

1 区市町村による在宅リハ支援事業への支援		
	平成23年度	平成24年度
実施自治体名	福生市、羽村市、青梅市、あきる野市、瑞穂町、日の出町	福生市、羽村市、青梅市、あきる野市、瑞穂町、日の出町
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民から直接窓口で受けた相談に対する支援 ・社会資源、リハビリテーションサービスの利用の仕方に関する支援 ・診断および診断書作成等に関する支援 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民から直接窓口で受けた相談に対する支援 ・社会資源、リハビリテーションサービスの利用の仕方に関する支援 ・診断および診断書作成等に関する支援 など

2 脳卒中医療連携推進事業への支援		
	平成23年度	平成24年度
支援内容	西多摩地域脳卒中医療連携検討会世話人として参加し、会の運営や年1回開催される研究発表会（23年度は6月26日に開催）への出席など。	西多摩地域脳卒中医療連携検討会世話人として参加し、会の運営や年1回開催される研究発表会（24年度は6月17日に開催）への出席など。
3 高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援		
	平成23年度	平成24年度
支援内容	東京都福祉保健局障害者施策推進部精神保健・医療生活課より別事業として『高次脳機能障害者支援普及事業（専門的リハビリテーション充実モデル事業）』を受託し、同院内に「西多高次脳機能障害支援センター」を設置、高次脳機能障害に関する啓蒙活動や、研修会の開催、生活支援員の養成、相談支援などを行った。	東京都福祉保健局障害者施策推進部精神保健・医療生活課より別事業として『高次脳機能障害者支援普及事業』を受託し、同院内に「西多高次脳機能障害支援センター」を設置、高次脳機能障害に関する啓蒙活動や、研修会の開催、生活支援員の養成、相談支援などを行った。
4 地域で特にニーズの高いテーマに関する研修等		
(1) 地域のリハビリテーション従事者の研修・援助		
	平成23年度	平成24年度
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・看護技術研修会（2回） ・移乗動作研修会（1回） ・摂食嚥下リハビリテーション研修会（1回） ・呼吸リハビリテーション研修会（2回） ・特別講演会（1回※西多摩リハビリテーション研修会主催/南多摩・西多摩地域リハビリテーション支援センター協賛） ・神経難病地域リハビリテーション研修会（1回※都立神経病院・東京都総合医学研究所（難病ケア看護）主催、南多摩および西多摩地域リハビリテーション支援センター） ・アロマセラピー研修会（1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・摂食嚥下リハビリテーション研修会（2回） ・移乗動作研修会（1回） ・看護技術研修会（2回） ・呼吸リハビリテーション研修会（2回） ・特別講演会（1回※西多摩リハビリテーション研修会主催/南多摩・西多摩地域リハビリテーション支援センター協賛） ・神経難病地域リハビリテーション研修会（2回※都立神経病院・東京都総合医学研究所（難病ケア看護）主催、南多摩および西多摩地域リハビリテーション支援センター） ・地域リハビリテーション講演会（※西多摩地域リハビリテーション連絡会主催）
(2) 直接住民と接する相談機関への支援		
	平成23年度	平成24年度
取組内容	<p>相談支援事業 対象者：市町村・保健所・医療機関・介護保険事業所・障害施策事業所など 取組内容：都度、支援者および直接市民が困っていること等への支援として実施。電話だけでなく、FAXやメールなどからも行っている。主な相談内容は、リハビリテーション資源およびサービス利用に関する相談、疾病や障害などから派生した生活上の問題に関する相談、摂食嚥下および口腔ケアに関する相談、福祉用具・住宅改修に関する相談、遷延性意識障害者の対応等に関する相談、就労・就学に関する相談、家族についてなど。</p>	<p>相談支援事業 対象者：市町村・保健所・医療機関・介護保険事業所・障害施策事業所など 取組内容：都度、支援者および直接市民が困っていること等への支援として実施。電話だけでなく、FAXやメールなどからも行っている。主な相談内容は、リハビリテーション資源およびサービス利用に関する相談、疾病や障害などから派生した生活上の問題に関する相談、摂食嚥下および口腔ケアに関する相談、福祉用具・住宅改修に関する相談、遷延性意識障害者の対応等に関する相談、就労・就学に関する相談、家族についてなど。</p>
(3) 福祉用具・住宅改修等の相談への対応に係る支援		
	平成23年度	平成24年度
取組内容	福祉用具研修会（1回） 取組内容：パナソニック・エイジフリーショップス株式会社の作業療法士・船谷俊彰先生をお招きして、ベッド上やベッド周辺の介助方法および自立支援に役立つ福祉用具紹介や使用方法の実演をいただいた。	福祉用具研修会（1回） 取組内容：昨年度に引き続き、パナソニック・エイジフリーショップス株式会社の作業療法士・船谷俊彰先生をお招きして、ベッド上やベッド周辺の介助方法および自立支援に役立つ福祉用具紹介や使用方法の実演をいただいた。
(4) 地域の関係団体の支援		

	平成23年度	平成24年度
取組内容	青梅失語症友の会「うぐいすの会」： 主にST（地域のSTも一緒に）が中心 なって支援している。主な内容は、継続的 なリハビリテーションの提供や生活困難に 対する支援を行っている	青梅失語症友の会「うぐいすの会」： 主にST（地域のSTも一緒に）が中心 なって支援している。主な内容は、継続的 なリハビリテーションの提供や生活困難に 対する支援を行っている
取組内容	（青梅市）高次脳機能障害者・遷延性意識 障害者と家族の会「なんてんの会」： ※主に「西多摩高次脳機能障害支援セン ター」にて、高次脳機能障害に関する診断 や診断書作成、リハビリテーション資源等 についてのアドバイス。また10月より青梅 市、青梅市障がい者サポートセンター、な んてんの会と協働して、認知グループ訓練 を月2回行っている。	（青梅市）高次脳機能障害者・遷延性意識 障害者と家族の会「なんてんの会」： ※主に「西多摩高次脳機能障害支援セン ター」に、高次脳機能障害に関する診断や 診断書作成、リハビリテーション資源等 についてのアドバイス。また昨年度より青梅 市、青梅市障がい者サポートセンター、な んてんの会と協働して、認知グループ訓練 を月2回行っている。
取組内容	（あきる野市）あきる野「こーゆう」（高 次脳機能障害者の会）： ※主に「西多摩高次脳機能障害支援セン ター」にて対応高次脳機能障害の生活に関 する相談やリハビリテーション資源等につ いてのアドバイスを行っている。	（あきる野市）あきる野「こーゆう」（高 次脳機能障害者の会）： ※主に「西多摩高次脳機能障害支援セン ター」にて対応高次脳機能障害の生活に関 する相談やリハビリテーション資源等につ いてのアドバイスを行っている。また、昨 年度よりOTとPTもしくはST等を派遣 している。
取組内容	（羽村市）「はむら高次脳機能障害家族 会」： 家族会自身に参加。本人およびご家族等の 軽重を行い、必要に応じて助言したりして いる。	（羽村市）「はむら高次脳機能障害家族 会」： 家族会自身に参加。本人およびご家族等の 軽重を行い、必要に応じて助言したりして いる。
取組内容	認知症家族の会・青梅ネット： 基本的にインフォーマルなピアカウンセリ ングの場として活動されている。一時記活 動の困難性が予想されたが、代表の方が上 手くことを運んだため、特に今は問題ない ようである。故に都度連絡が来たり、手紙 が届いたりする程度である。	あきる野市在宅栄養士会「のらぼうず」： 勤務先を持たずに在宅で生活しながら都度栄 養士の仕事をしている方たちの集まり。ま た地域には在宅で生活している利用者の中 で栄養状態が悪い方も多く存在しているた め、この両者のマッチングを図っていく予 定。

(5) 連絡会・事例検討会の実施

	平成23年度	平成24年度
取組内容	摂食・嚥下機能支援協議会（西多摩保健所 主催）： 地域できつつある摂食嚥下および口腔ケ アに関する連絡会。多職種が集まり、ざっ くばらんに日頃の業務の実情や悩みを共有 することで、更なる相互理解が進んだ。 （特に医師と歯科医師間連携について。）	介護支援専門員・訪問看護スタッフ・訪問 リハビリテーションスタッフ交流会： これまでにあった地域での多職種連携の事 例報告と職種ごとの分かれてのグループ ワークを行った。訪問サービスでは、なか なか同時に顔を合わせる機会が少ないの で、ネットワーク構築にも有効な会となっ てきている。
	摂食・嚥下リハビリテーション症例検討 会： 上述の通り	個別支援会議（日の出町子育て福祉課主 催）： 日の出町子育て福祉課で抱えている実際の 処遇困難事例での個別支援会議。問題が多 岐にわたっているため、各分野のスタッ フが参加し、地域も巻き込みながらどのよ うにすれば鍾愛を有する方との共存がしてい けるかを検討（中）。
	呼吸リハビリテーション症例検討会： 上述の通り	摂食・嚥下機能支援協議会（西多摩保健所 主催）： 摂食・嚥下機能障害の方を切れ目なく支援 するために、摂食・嚥下機能についての正 しい地域の普及を図り、地域の関係者との 連絡を図りながら在宅診療歯科医療の推進 を目的として行われる会議。

	リハビリテーション症例検討会： 上述の通り	難病保健医療福祉調整会議（西多摩保健所主催）： 地域の難病対策を円滑に推進するために難病患者療養支援に関わる関係者が一堂に会することで連携を深め、難病患者の在宅療養生活を支援する地域ネットワークの構築を図ることを目的とした会議。今年度は、昨年度に引き続き震災対策をテーマに議論が進められた。
取組内容		摂食・嚥下リハビリテーション症例検討会： 上述の通り
取組内容		呼吸リハビリテーション症例検討会： 上述の通り
取組内容		リハビリテーション症例検討会： 上述の通り

(6) その他、地域のリハビリテーションの推進に必要な事業

	平成23年度	平成24年度
取組内容	「相談支援事業」案内配布： 介護保険や障害福祉制度の充実により相談窓口は増加してきている。しかし、また高齢者や障害者が抱える全ての問題が解決している訳ではなく、処遇困難ケースと呼ばれケースも増えつつある。当センターではそのような場合に、高齢者や障害者が生活していけるよう相談窓口等の支援を行っている。	「相談支援事業」案内配布： 介護保険や障害福祉制度の充実により相談窓口は増加してきている。しかし、また高齢者や障害者が抱える全ての問題が解決している訳ではなく、処遇困難ケースと呼ばれケースも増えつつある。当センターではそのような場合に、高齢者や障害者が生活していけるよう相談窓口等の支援を行っている。
取組内容	地域リハビリテーション普及事業： 地域リハビリテーションの啓蒙とリハビリテーションの充実を図るために各種のパンフレット等を都度配布している。	地域リハビリテーション普及事業： 地域リハビリテーションの啓蒙とリハビリテーションの充実を図るために各種のパンフレット等を都度配布している。
取組内容		地域資源（リハビリテーション）マップ作成： 地域には沢山の資源やリハビリテーションを提供できる場があるが、それらを1冊にまとまっているものがないため、改めて各機関に調査を行い地域資源（リハビリテーション）マップを作成。（今年度は途中まで）

地域リハビリテーション支援事業を進める上での問題点、今後の対応等

(1) 特に問題点があればご記入ください。

- ①当センターがこの事業を受託して7年が経過し、センターで啓蒙してきた「地域リハビリテーション」と「リハビリテーション」の概念の混同は様々な職種に少しずつ植えてきた感がある。しかし、地域自らが自分たちにとって生活しやすい土地にするという考えにはまだ至っていない。それに付随して、まだ多くの方にリハビリテーションはPT、OT、STが提供してくれるものだと思われる節がある。
- ②以前に比べてネットワークの構築も更に進んできたと思われるが、未だ医療から福祉へ繋がる部分での連携が弱いと思われる。
- ③各種の診断をしたり指示等を出す中心である医師の多くに、リハビリテーションが理解されていなかったり、関心が薄いと思われる節がまだある。
- ④今後の地域包括ケアの要はケアマネジャーと思われるが、ケアマネジャーの視点にリハビリテーションの視点が欠落していることも見受けられ、利用者の生活の視点のプランニングが求められる。
- ⑤ケアマネジャーを指導教育する立場のはずである地域包括支援センターがその機能を十分に発揮できていないことも多く見受けられ、困難ケースの解決に至らないことも多い。
- ⑥障害者の生活支援については、誰が支援のキーパーソン（コーディネーター）になっているかが分からないことも多く、多くのケースで家族自らがさびの調整等行っていることも見受けられる。
- ⑦介護保険と障害福祉サービスの両方が利用できるケースも、上手くコーディネートが行われずに問題解決が図れていないケースが見受けられる。
- ⑧押しなべて、若年層の日中活動の場がどの市町村にも不足している。
- ⑨行政内も分野別に分かれて施策が実施されており、高齢者や障害者の生活全体を支援する視点からのシステム（支援）構築になっていない。

(2) 取り組んでよかったこと、他の支援センターにも薦めたい取組があればご記入ください。

- ①各市町村の地域包括支援センターとの連携
- ②各市町村の障害福祉課および障害福祉サービス関連事業所との連携
- ③高次脳機能障害に関するもの
- ※西多摩高次脳機能障害にて活動…医療、介護、福祉、行政を巻き込んだ活動ができた。

(3) 今後の対応

・次の3年間で課題に思っていることはありますか、目標はありますか。

- ①今後も更なる地域リハビリテーションの啓蒙を行い、高齢者でも障害者でも住みやすい社会が構築できるように活動を継続していく。
- ②医療機関と介護保険従事者、医療機関と障害福祉サービス従事者、介護保険従事者と障害福祉サービス従事者とが一緒になって参加できる研修会や事例検討会、連絡会等を開催していく。
- ③医師に関心を持ってもらえるような後遺症、生活およびリハビリテーションに関する研修会や事例検討会、連絡会等を開催していく。また並行して地区医師会との協働を図れるように努力していく。
- ④ケアマネジャー向けのリハビリテーションの資源紹介の研修会や事例検討会、連絡会等を開催していく。と同時に各市町村の介護支援専門員連絡協議会とも協働していく。
- ⑤各市町村の介護保険課、地域包括支援センター等との協議を行い、2025年に向けての地域包括ケアの充実について協議していく。
- ⑥総合支援法で謳われている「個別支援計画」について、携われるところから支援していく。
- ⑦市町村職員、医療従事者、介護保険従事者と障害福祉サービス従事者等と一緒に参加できる事例検討会や連絡会を開催していく。
- ⑧ここ数年、若年層や高次脳機能障害に特化したサービス事業体系も整備されつつあることを踏まえ、必要に応じて紹介したり、資源マップを作成していく。
- ⑨行政内で可能であれば総合福祉課のような、資源のトータルコーディネートができるような部署の設置の必要性（委託でも可）を促していく。

・連携施設・協力施設（病院）を募る予定はありますか。

- ・連携施設…進藤医院、大久野病院訪問看護ステーション
- ・協力病院…募る予定だが、その役割等を明確化していくため、数を縮小する可能性あり

・各支援センターで共通に取り組んだ方がいいと思われる事柄がありますか。調査等「その他地域のリハビリテーションの推進に必要な事業」で実施したことも含めて教えてください。

- ・「地域包括ケア」に関するもの
- ・障害者総合福祉法に関するもの

・地域において特に支援のニーズを感じる事柄がありますか。

- ・「地域包括ケア」に関するもの
- ・障害者総合福祉法に関するもの

(4) その他何かございましたら、ご記入ください。

特になし